

平成29年度
優良取組賞

JR九州ドラッグイレブン株式会社

会社概要

JR九州ドラッグイレブン株式会社は、平成元年6月に開業し、九州各県及び沖縄県に212店舗を展開し、本県には43店舗展開、従業員数は約2,600人である。

削減実績

二酸化炭素排出量削減率21.2%達成（平成25年度比）

※電力排出係数の変動の影響を考慮し、電力排出係数を基準年度（平成25年度）に固定して実績排出量を算定し、計画期間（平成26年度～平成28年度）の平均排出量を評価した。

実施した対策

全従業員による削減活動の実施

「3e運動～enjoy eco eleven」という独自の経費削減の取組を掲げ、平成26年より継続して全店舗で実践している。「3e運動」の取組内容は、照明や空調の消し忘れをしないようにPOP（作業手順書）を作成し、全店で共有して取り組んでいる。

店舗ごとでチェック項目をセルフチェックした記録を掲示して、前の記録と比較して、削減目標に向けたやる気を出させる取組がされており、従業員の意識付けを徹底している。

その他、4Sチェック（各店舗のドラッグ、化粧品、ヘアサロン部門ごとに、毎月、実施の目的に向けた目標達成率を数値化して、その成績を全店と比較し、評価するシステム）や5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰（しつけ））などの取組も併せて実施している。

省エネの取組

毎月の使用量・使用金額を配信し、各店舗で実績を確認、把握するため、スマイルチェックとして前年比100%超の場合は泣き顔に、100%未満の場合はスマイルに色を塗って掲示する取組を行い、スタッフ全員が状況を一目で確認出来るようにしてあり、従業員の意識付けを徹底するとともに、バックヤードについては、各電源スイッチのところに、節電の呼びかけ、エアコンの設定温度等を掲示するなど節電の意識付けが行われ、省エネ活動に取り組んでいる。

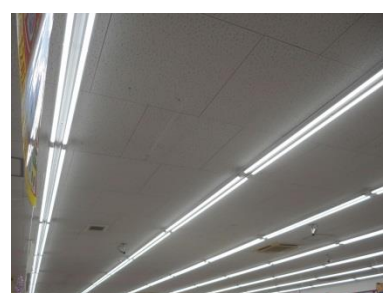
また、各店舗でエネルギー使用量を把握し、そのデータを検証し、削減に向けた対策を検討・実施した店舗毎の実証例をもとに、削減効果が良い店舗の取組状況の情報を他店に発信することで、他店への水平展開を図っている。

新店舗建設時や改装時には、照明設備及び空調設備、冷蔵設備等について、積極的に省エネ設備の導入を行っている。

今後は、設備更新時には高効率設備を導入し、「3e運動」等の取組を継続することで、省エネに繋げていく予定である。



省エネ活動



LED化